

安全就業だより

公益社団法人 小郡大刀洗広域シルバー人材センター
安全就業委員会発行 会員ニュース第2号
(平成30年7月)

～ 安全就業強化月間特集号 ～

熱中症に十分注意してください！

豪雨災害から一転して、梅雨明けと同時に厳しい暑さに見舞われています。気温36度、37度が当たり前となってきました。何もしないでいても暑さでクラクラとするのに、屋外で作業をする会員さんの負担を考えると本当に頭が下がります。シルバー人材センターにも夏休みがあればいいんですが、そうもできませんので、その日の体調を見ながら決して無理をしないようにしてください。(本当は酷暑の中で作業すること自体が無理なことかもしれませんが。) 体調がすぐれないときは、思いきって就業をお休みする決断も必要です。まずは睡眠と栄養を十分にとって体調管理をしましょう。就業中は、水分・塩分(ミネラル)の補給をこまめにし、日陰で適度に休憩をとってください。 parasolやタープで人為的に日陰を作ることもお勧めです。保冷剤などの熱中症対策用品はどんどん活用したいものです。



また、作業中は会員同士で様子を気遣い、お互いに声かけをしましょう。いつもと違うと感じたら、休憩をとらせ水分の補給を促してください。そしてまず、体を冷やすこと。回復する気配がないときには、病院に行くようにすすめてください。周りの人の配慮も熱中症を重症化させないポイントとなります。また、屋内でも夜間でも熱中症の危険はありますので、ご注意ください。(熱中症は、シルバー傷害保険の適用ができません。)

7月は安全・適正就業強化月間です

全国のシルバー人材センターでは、「全国安全週間」に合わせて7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、様々な取組みが行われます。平成29年度の全国の重篤事故件数は、46件(うち死亡33名)となっております。この中には福岡県の重篤事故が5件含まれ、当県の事故の多さは際立っております。全ての会員が安全を自分自身とシルバー組織全体の問題ととらえ、事故を起こさないよう安全意識を持って就業にのぞんでください。

～ 日頃の就業を見直そう! ～

- 各職群班、グループで日頃使用している保護具、用具、機械の点検をしてください。ヘルメットに大きな傷はないですか? 安全帯のひもは擦り切れていませんか? 掃除に使う道具や脚立、除草鎌、託児の子供さんが使うおもちゃなど就業で使用するもの全部が対象となります。センター所有の物に限らず、バリカンや刈払機などの個人持ちの機械も点検、整備し、お互いにチェックし合ってください。
- 作業前、グループでの打ち合わせを確実にしましょう! 現場では、まずKYミーティングを実施。全員で現場を確認し、予測される危険を注意し合い対策します。作業の手順と、お互いの健康状態も確認。この作業前のミーティングが確実にできていれば、多くの事故を未然に防ぐことができます。
- 高齢者という観点から、危険と思われる作業はお断わりをしています。足場の高さ2mを超える作業、斜面や転落の危険性が高い作業等は受けられません。

シルバー安心・安全

始めるよ!

プロジェクト



安全は自分たちでつくる!

前回の安全就業だよりでもご紹介した「指差呼称」。これに、「工夫・改善コンクール」加えて、新しい取り組みをして参ります。今年度はそのスタートの年です。安全就業委員会からのテーマはこのふたつだけ。あとの内容はオリジナルです。

指差呼称の3つの実施項目は、皆さんがそれぞれ決めていただきます。工夫・改善の知恵も皆さんで考えを出し合い、実施していきましょう。

段階的に呼びかけをいたしますので、プロジェクト実施にご協力をお願いします。

- 強化月間を機に、安全就業基準(全会員対象)、作業別安全就業基準(各職種別)を再確認してください。お持ちで無い方は、事務局でお渡しします。

事故報告

「4月から、すでに4件の賠償責任事故が発生しています」

《 損害賠償責任事故 》

- ① 発生日時 5月11日(金) 10時20分頃
- ② 場 所 小郡市大保 発注者宅
- ③ 会 員 小郡本所 植木剪定 76才 男性
- ④ 事故内容 留守宅の剪定でキンモクセイを切り過ぎてしまい、樹形が変わり葉もわずかしか残っていない状態にしてしまった。

《 損害賠償責任事故 》

- ① 発生日時 5月21日(月) 10時頃
- ② 場 所 小郡市大崎
- ③ 会 員 小郡本所 植木消毒 3名 男性
- ④ 事故内容 植木消毒時に噴霧した薬液が風に流されて、発注者宅から4mほどの道路を挟んで隣接する畑に広げてあった水稻の箱苗に飛散した。

無事故チャレンジ運動2018

平成30年7月～10月

10年目の無事故チャレンジを達成しよう!

無事故チャレンジ運動は、2009年にスタートし10年目となりました。安全就業促進月間の7月をかわきりに暑さ厳しい8月と9月、当センターで重大事故が起きた10月までを集中力をきらさずに無事故で過ごそうという呼びかけが、無事故チャレンジです。しかし、これまで“4ヶ月間無事故”を達成できたのは2回だけです。今年こそは、皆で声掛け合いながら4ヶ月間の無事故を達成させましょう!

安全就業促進大会報告

安全・適正就業強化月間のメイン行事である平成30年度安全就業促進大会を7月10日(火)小郡市生涯学習センター七夕ホールにて開催しました。

大会では、安全就業委員会報告として田川安全就業委員長より、シルバー安心・安全プロジェクト(表ページに記載)の説明と呼びかけをしました。

小郡警察署による交通安全講話、牛嶋歯科医院牛嶋院長には「高齢者の口腔の健康維持」についてお話していただきました。口腔機能の衰えは(オーラルフレイル)、様々な病気の引き金になるとのこと。認知症の発生リスクも増えるそうです。単に「歯」だけの問題ではなく、食事を取り言葉を発するお口の健康は、これからの生活の質を左右する大事なものだということでした。ポイントは、単に歯を磨くだけでなく、磨けたかどうかの確認です。歯を大切にしていきましょう。

他に安全標語の表彰(以下に記載)、委員の紹介があり、最後は森山安全就業委員の安全就業宣言に、会場皆さんの賛同を得て大会を終了しました。



中村理事長挨拶

*大会には会員234名の出席があり、約65%の出席率(目標70%)となりました。出欠の取りまとめにご協力をいただいた地域班長の皆さんにお礼申し上げます。いつもお世話かけます!

安全標語優秀作品

応募者22名応募総数64点より3作品が選ばれ、大会にて表彰しました。

《 最優秀賞 》

危険予知 みんなで共有 安全就業 (三 沢)

《 優 秀 賞 》

指を差し 声を出しの 安全習慣 (大刀洗)

無理しない あせる気持が 怪我のもと (大 保)

** 応募くださった皆さん **

ご応募された方には、後日粗品を差し上げます。



最優秀賞を受ける峯崎会員

(敬称省略)

ご応募ありがとうございました!

福岡県シルバー人材センター連合会安全就業促進大会報告

7月5日(木)福岡市千早の東市民センターなみきホールにて、福岡県シルバー人材センター連合会主催、平成30年度の安全就業促進大会が行われました。当センターからは、安全就業委員会の委員・職員13名が参加致しました。



← 右端が最優秀賞受賞の棚町会員

平成30年度 福岡県シルバー人材センター連合会選 最優秀賞

あぶないぞ!! 言える勇気と 聞く心

会員

福岡県内の各シルバー人材センターから応募があった280点の作品の中から、当センター(大刀洗出張所)の棚町安全就業委員の作品が見事最優秀賞として選ばれました。この標語は、平成30年度の福岡県統一スローガンとなっております。

自動車安全運転講習会

6月18日(月)小郡自動車学校において、福岡県警、JAFが主催する高齢者自動車安全運転講習会が実施され、運転業務に携わる会員ら18名が参加しました。ドライブレコーダーをつけてコース内を走行し、その記録を見ながら安全に走行するための助言等がなされました。

- ・常に危険予測運転をする。
- ・交差点は停止線で確実に止まり、多段階停止をし確認を確実にしてから通行する。
- ・全体に左折時に右にふくらみ過ぎる傾向があるので注意。
- ・運転は上手である必要はない。確認をきちんとし慎重にすることが大事。



安全運転サポート車の試乗体験。最新の車の安全性能には驚かされました。もちろん主体は運転者、機能はドライバー支援でしかありませんが、次に買う機会には是非検討して欲しいものでした。